

飯高寺では、平成24年7月2日・3日立正大学名誉教授中尾堯先生を委員長とした日蓮宗宗宝調査委員会の先生6名宗務院関係3名にて現地調査が行われた。

このおり、題目堂を調査し、安置された宮殿を調査、江戸初期の彩色鮮やかな妙見菩薩像を発見（文献と像裏の書き付け等で年代照合）また、その他仏像2組（大黒天、鬼子母神十羅刹女像）や檀林教育の跡が残るたくさん祈願札が発見され、10月1日・2日にも継続調査された。

妙見像は本地垂迹の2体で形成され、像内より当時の祈願の文書が、また、一切経蔵の長持ちから当時の化主日遠の妙見像の書、寄進者養珠院の祈願書、像を描いた絵図等が発見された。

この妙見像は、平成25年春、千葉市美術館で行われる展覧会に出陳予定。

また、一切経蔵からは、古活字も発見された。